

NO. 36 2011年4月19日発行
発行責任者 森越 初美
TEL 03-5320-7412(直)
内線 63-210
FAX 03-3349-1502
Eメール info@eiseikyoku-shibu.com
URL http://www.eiseikyoku-shibu.com

えいせい

車も家も飲み込んだ津波、戦場にいるような錯覚 きつと

素晴らしい街に復興を果たすに違いない

災害医療班として 派遣

先日3月11日に起きた東北地方太平洋沖地震を受け、福祉保健局より小児総合医療センターにも医療救護班派遣の要請があり、3月17日～21日まで宮城県気仙沼へ災害派遣として行ってまいりました。小児総合医療センターとしては救急救命科池田医師、PICU看護師松田、HCU看護師阿部の3名でチームを組みました。

往路は原子力発電所の水素爆発の影響を受け、東北自動車道を避けたため17時間かけてバスで宮城県入りしました。まだ暗い午前3時頃到着し仮眠も取れないまま午前5時より車で出勤。

甚大な津波災害

現地は報道の画像や映像でみるよりも惨憺たる状況でありました。今回の震災の特徴は津波被害の甚大さです。気仙沼市を車で巡回する毎日でしたが、津波の被害がいたるところにあり、自分はまだで戦場にいるのではないかと錯覚するほどでした。

津波は車も建物も街並みも、そして人間も生活もすべてのみこんでしまっていました。

焼け野原となった市街を車で走った時に目の前に巨大な船が現れました。それは異様な感覚で、現実なのか幻想なのかよくわからなくなり、ハンドルを握りながら思わず身震いしてしまいました。おそらくあの感覚は一生忘れないのではないのかと思います。

冷静かつ秩序正しい生活に感動

このような状況の中でも、避難所で生活されている被災者のみなさんが極めて冷静に秩序正しく生活をされている様子に、本当に感動をいたしました。震災後一週間程度の日数がたち、疲れも大変なものだろうと思いましたが、日々刻々、いや時々刻々と変わりゆく毎日に向き生きようとする空気がありました。

私たちがいた3日間の中でも水道がつながり電気がつながり携帯電話がつながるようになり・・・などライ

フライングがつながっていき、復興へ向けて着実に進んでいることは確かでした。避難所にいる子どもたちは、きつと心の中では悲しい思いもたくさん抱えていることとは思いましたが、元気に鬼ごっこなどをして遊んでいる様子もあり、子どものたくましさ改めて感じた場面でした。

被災者の頑張りに期待します

被災者のみなさんにとっても、日本にとっても本当の正念場はこれからだと思います。復興への道のりはたやすいものではないでしょう。

しかし、今回現地へ行き被災者の方々の辛抱強く生活される姿勢を目の当たりにし、きつと今までもよりはずっと素晴らしい街に復興を果たすに違いないと感じました。



沖縄平和ツアーに参加した時の松田書記長

今回は非常に貴重な経験となりました。また何か自分に協力ができることがあれば惜しみなく協力をしていこうと思います。今回支援を体験して、支援する側の準備や保障という点でも、東京都がもっとしっかりとバックアップすべきではないかと感じました。支部や分会としても今後も継続的な支援の方法を考えていきたいと思います。皆様の協力をよろしくお願いいたします。

小児総合医療センター分会
書記長 松田 清隆

用語解説
PICU 小児集中治療室
HCU 小児集中治療室
篤度が低い集中治療室

新しく福祉保健局・病院経営本部入られた皆さん、他局から転入されてきた皆さん 衛生局支部は歓迎します！

労働組合に加入してください



東日本大震災の募金活動と看護師増員を訴える森越支部長

働きやすい職場づくりや労働条件の改善を

福祉保健局、病院経営本部に入局された皆さん、他局から転入された皆さん。私たち衛生局支部組合員は心から歓迎いたします。

皆さんがこれから長く働きつづける職場となる都政や保健衛生医療行政の充実と、働きやすい職場づくり、労働条件改善のために、一緒に考え行動していききたいと思えます。

都民の生活と権利を守るためには労働組合に

私たち自治体に働く地方公務員は、憲法15条に、「すべて公務員は、全体の奉仕者であつて、一部の奉仕者ではない」と規定され、公務労働論でも、「憲法に定められた国民の権利を擁護し、福祉の

増進を図るのが公務員の役割」と言われています。

皆さんは、「良い仕事をした」「公務員として都民の生活と権利を守る仕事をした」と、希望を持って入都されたと思います。

しかし、一人でその思いをかなえるのは困難です。私たち労働組合は、賃金の引き上げや休暇の取得、福利厚生事業の充実などはもちろんのこと、「働きやすい職場をつくりたい」「良い仕事がしたい」などの要求を実現することも大切な運動のひとつに位置づけています。

安定した日本経済の発展のためにも賃金の引き上げを

現在の日本社会は、財界・大企業の経営状況の厳しさを理由に賃上げ抑制、正社員を削減して非正規雇用への置き換えなどをすすめて、政府もそれを後押ししてきました。その結果この10年間で、年収200万円以下のワーキングプアを23.3%に増大させ、その一方で企業の内部留保は、244兆円にもなっています。

しかし、冷え込んだ日本経済を転換するには、6割を占める個人消費を伸ばすため、労働者の賃金引き上げを主張するマスコミや経済評論家など、労働組合の社会的役割への期待もたかまっています。

増えるメンタルヘルズ不調やサービス残業

石原都政は、保健・福祉や医療関係予算を削り、充実を求める都民の声を無視して都民サービスを低下させてきました。

16あった都立病院も8つに減らしてきています。都庁の各職場は度重なる職員定数削減（11年間で42%減員）で、長時間労働・サービス残業や、超過密労働が横行しています。

労働者は団結してこそ力を発揮できる

みんなで力を合わせて、人が人として働くことのできる「あたりまえ」の条件を要求し、改善させていくことが必要です。

新入・転入職員の皆さん、



今後の日程

- 四月二十四日(日) 統一地方選挙投票日
- 五月一日(日) 第八二回メーデー
- 代々木公園・井の頭公園
- 五月一日(水)
- 看護の日行動
- 六月一日(土) 新入組合員歓迎会

衛生局支部長

森越 初美
小児総合医療センター

組合員・職員の皆さん

ご支援どうもありがとうございます。

東日本大震災被災地へ緊急支援カンパの取り組みが進んでいます。東京自治労連を通して被災地・被災者に送られます。

分会から寄せられたカンパ

4月18日現在

1,204,078円です

生協からのお知らせ

日時 4月26日(火) お昼休み

☆ 紅小夏

450円(5~6個) 組合員

500円 その他

衛生局支部書記局 27階南側

※本庁舎以外で取り組む場合は予め連絡ください。

